エリア: 国指定鳥獣保護区

(予定地)

DATA

所在地:千葉県浦安市、市川市、

船橋市、習志野市

着 手: H14

三番瀬再生会議

概要:東京湾に残された三番瀬の貴 重な自然を守るため、自然環 境の再生保全と地域住民に親 しめる海の再生を検討。

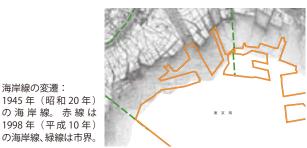


生物多様性の回復/海と陸との連続性の回復 環境の持続性および回復力の確保/漁場の生産力の回復 人と自然とのふれあいの確保



三番瀬は、東京湾奥部、江戸川(放水路)河 口に残された約 1,800ha の広大な海域で、昭 和 40 年代から昭和 50 年代初期にかけて東京 湾奥部一帯で行われた干潟域の埋立事業によ り、三方を埋立地に囲まれた現在の形状とな りました。また、三番瀬にはゴカイ類、アサ リ等の二枚貝、ハゼ、カレイなどの魚類が数 多く生息し、スズガモ、シギ・チドリ類など の集団飛来地となっています。

しかし、海岸部の埋立てのほか、地盤沈下、 家庭雑排水などによる海域の富栄養化や青潮 の進入などにより環境が悪化しています。こ のことから、東京湾に残された三番瀬の貴重 な自然を守るため、自然環境の再生保全と地 域住民が親しめる海の再生を目指した取組み を進めています。





自然再生の手法

- > 行徳湿地の汽水化・干出域の拡大化→①
- 三番瀬と行徳湿地のつながりの強化→①②

生物多様性の回復や海と陸の連続性を回復し、三番瀬の自然環境 を再生していくため、多様な塩分濃度を有する汽水的な環境の創出、 干潟的な環境の拡大、後背湿地の回復を進めるための各種調査を実 施しています。また、自然環境に関する調査結果の活用を図るた めのデータベース構築やモニタリングのためのマニュアル作成等を 行っています。

海岸線の変遷:

① 行徳湿地連携検討調査

行徳湿地の三番瀬後背湿地としての役割を踏まえ、行徳湿地と三 番瀬との海水交換の促進、湿地内海域の深みの埋戻し、淡水導入に よる汽水域化等を図るため、導流堤の改良調査、淡水導入増量時の 水質影響調査等を行っています。

三番瀬の再生のイメージ



番瀬自然環境調査

三番瀬の自然や生物相について、中長期の変動を含めた把握・評 価を行うため、地形や水・底質、底生生物、魚類・藻類、付着生物、 鳥類などについて定期的な調査を行っています。